

紙面紹介

- 1面 地評定期大会／インボイスNO！
 - 2面 千代田平和集会／三多摩最賃宣伝
 - 3面 関東大震災100周年／さよなら原発
 - 4面 労働相談・新事務局員紹介
- E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

TOKYO はたらく仲間

246

2023年10月15日
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館

TEL 03(5395)3171
FAX 03(5395)3240



日比谷野音に全国から1758人
東京春闘共闘・全労連も参加

東京地評第22回定期大会 年間を通じた賃金闘争を

東京地評第22回定期大会が9月23日、中央区・銀座ブロッサムで開催。単産代議員31団体128人、地域代議員38地域70人、来賓や幹事・事務局など含む総計294人が参加して行われました。女性参加率18.2%。議長団に東京自治労連の石澤さん、全国一般東京の小澤さん、北部ブロック・文京区労連の鈴木さんを選出し、ストを構えた春闘、学習教育を据えた幹部育成の取り組みなど、厳しい職場環境を切り開く活発な討論が続きました。

すべての労働者の賃上げと底上げ 仲間を増やし要求を勝ち取れる組織建設

議事開始にあたり、小澤大会議長が23春闘は20数年来賃上げを抑制してきた状況から風穴を開けた一歩となったが、物価



4年ぶりの大規模大会。最賃、秋季年末闘争、春闘、夏季闘争をつなぐ切れ目のない賃金闘争方針、要求が勝ち取れる組織拡大方針を確認

高騰を上回る本格的な賃上げは24春闘にかかって

呼びかけました。矢吹の王権者あいさつの

「建設アクション実行委員会(首都圏の官民建設労組)」は9月13日、物価高で苦境にある中小業者をさらに苦しめる消費税負担のインボイス制度や大軍拡に怒りの声を上げようと日比谷野音

怒りは限界を超えた！9・13大集会

「怒りは限界を超えた」と強調。「国民生活を導

インボイス導入を 国民は求めている

「怒りは限界を超えた」と強調。「国民生活を導

「STOP! インボイス」の小泉なつみさんは、労組の運動があったから、反対の声をあげることができた経験を紹介しながら、「50万人(オンライン署名数では国内最大数)目指してがんばりましょう」と発言。

「地域組織の課題」33の加盟組織の発言で方針が補強されました。

「最賃運動の取り組み」大企業の内部留保が510兆円を超えました。

「実際に諸外国ではどのような闘いとなつています。世界に負けない日本の賃金を作っていく、公正な分配を実現するために闘う労組、東京地評の必要性が浮き彫りになったと思います。頂いた補強意見を携えて大会方針に団結し、皆さんと共に奮闘していきます。」

労働者を取り巻く情勢は岸田政権によって大きく変えられようとしています。日本の労働者の賃金がこの20年間あまりで、約20万円も減少しています。年収200万円以下のワーキングプアは824万人から1126



新議長あいさつ 矢吹義則

富者が生み出した賃金内部留保を還元させ

「この点について、千代田区労協の代議員から地域組織を強化していくにあたって、加盟組織にとって役立つ、頼れる地域にならなければいけないと高い志を持つ発言をいただきましたので参考にしたいと思います。」

「実際に諸外国ではどのような闘いとなつています。世界に負けない日本の賃金を作っていく、公正な分配を実現するために闘う労組、東京地評の必要性が浮き彫りになったと思います。頂いた補強意見を携えて大会方針に団結し、皆さんと共に奮闘していきます。」

参加し、宮本議員は「物価高騰の中で暮らしを守るために賃上げと年金引上げに政府は全力を尽くすべき。働く者がもっと報われる政治を実現しましょう。」と参加者を激励しました。

「この点について、千代田区労協の代議員から地域組織を強化していくにあたって、加盟組織にとって役立つ、頼れる地域にならなければいけないと高い志を持つ発言をいただきましたので参考にしたいと思います。」

「実際に諸外国ではどのような闘いとなつています。世界に負けない日本の賃金を作っていく、公正な分配を実現するために闘う労組、東京地評の必要性が浮き彫りになったと思います。頂いた補強意見を携えて大会方針に団結し、皆さんと共に奮闘していきます。」